

# 仲間を増やそう!

## ～地道な声かけと、一人でも参加できるクラブづくり

コロナ禍においても、「新しい生活様式」を取り入れ、感染対策の下、さまざまな活動が取り組まれています。「加入促進」に向けた取り組みもその一つです。外出機会や人との交流が少なくなり、不安を抱えている高齢者も少なくありません。こうした時こそ、老人クラブの仲間づくりの輪を広げていきましょう。

そこで、今回は加入促進の取り組みを紹介します。ひとつは未加入者への戸別訪問を通じて会員を増やした長野県辰野町赤羽なごみ会。もう一つは、京都府老連から未設置地域や解散クラブの会員を対象にした「個人会員制度」の取り組み状況について報告します。

### ■未加入者ひとり一人とつながる ～169戸への戸別訪問

長野県辰野町／赤羽なごみ会 会員数 83人

赤羽なごみ会は、今年度、区内在住で65歳以上の方がいると思われる家庭を一軒ずつ訪問して声掛けを行いました。その結果、28名（※令和4年1月現在）の方が加入しました。



年に1回の懇親旅行

訪問先の名簿は、住宅地図を見ながら、近所の皆さんの「あのうちの人は65歳以上だよな」などの情報をもとに会員にも確認して作成しました。対象は169軒。不在のお宅もあり121軒に訪問しました。まさに足でかせぐ地道な声掛けが実を結んだ形となりました。対象者のお宅への声掛けは、会長、副会長、前会長、前々会長の4名が中心となりました。また、同じ地区の会員に声を掛けてもらう方が入会につながりやすいので、手伝ってもらいました。

### ●老人クラブ活動と地域のつながりを伝える

訪問先では、「会員の減少が続くと会の存続が危ぶまれ、ひいては、地域コミュニティーの活動も継続が困難となり、後退へ繋がってしまう事を危惧している」ことを伝え、会の目的「共助」「絆」「仲間づくり」の大切さを皆さんにお話させていただいています。「私たちの説明に、『加入するよ』と入会を快諾された時は嬉しかったです」と声かけに参加した役員は話しています。



町老連主催の「健康運動教室」